

教職員指導・説明用資料

(小学1～4年生)

小学校1～4年向け資料は、ケータイ（スマホ含む）を持っていない児童も多くいるという状況を考慮して、昔話にケータイを織り交ぜた3コマまんがをきっかけに「約束を守る」「相手を思いやる」「守ってくれているものを知る」など道徳や教訓を読み取り、ネットマナーや情報モラル向上について、考えさせてください。

【オモテ面】

「つるのオンガエシ」

若者がわなにかかった鶴を助け、その鶴が人間の女性（おつる）に姿を変え若者に恩返しをするという物語。おつるが自らの羽を織り上げるため、「部屋は絶対に開けないでください」と若者に告げる。しかし、若者はその約束を守ることができず、部屋を開けてしまったことでおつるは若者のもとから去ってしまう。 ※ 若者が老夫婦の説も有り

約束を守らなかったことで若者は大切なものを失ってしまいました。

「カサじぞう」

貧しいが心の清らかなお爺さんが笠を売りに町へ行ったが、全く売れず、家に帰る途中道端にお地蔵さんを見つける。そのお地蔵さんに「売れ残りで申し訳ないが寒そうだから」と笠をかぶせていく。6体目のお地蔵さんには笠が足りなくなり、お爺さんの頬かぶりの手ぬぐいをかぶせる。その夜、お地蔵さんがお爺さんの家にお礼のためお米やお餅など持って行ったという話。

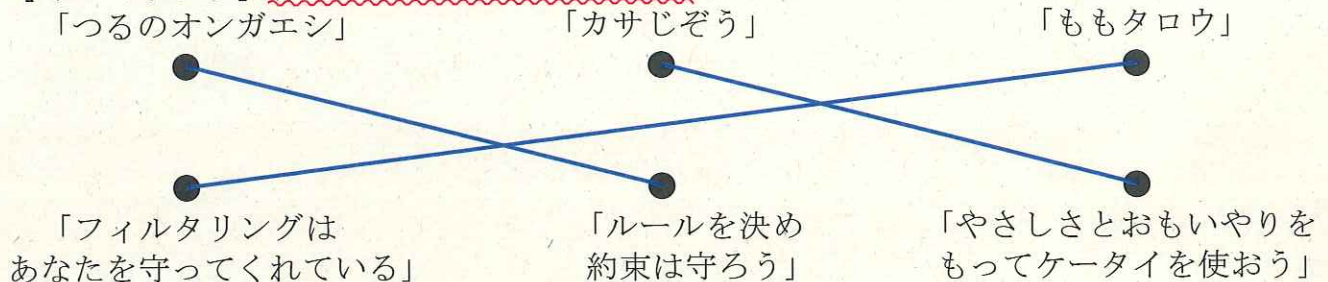
「思いやり」や人が何か(誰か)のために優しくすることの素晴らしさを知らせる。

「ももタロウ」

桃太郎は育ててくれたお爺さんお婆さんら村人を苦しめる鬼を退治するため鬼ヶ島に行く。途中、お婆さんが作ってくれたきび団子を犬、猿、キジに与えたところ、一緒に鬼退治にお伴してくれた。犬、猿、キジの活躍もあって桃太郎は鬼退治に成功するという話。

鬼退治ならぬウイルス撃退のため、3匹は盾を持ち桃太郎を大いに助けた。それはまるで利用者を守るフィルタリング機能のようである。

【やってみよう】昔話と教訓を線で結んだ結果



【ウラ面】

- ・ケータイを持たせる前にその先に待ち受ける多くの問題について子供たちに教えるよう保護者に伝えてください。
- ・ケータイを持たせる前に子供と一緒に家庭でルールを作っておくことが大切だと保護者会や学年だより等で伝えてください。
- ・困ったときに相談できる連絡先について児童に教えてください。
- ・市町村教育委員会の電話番号、学校の電話番号を記入するよう指導してください。